

平成 25 年 1 月 18 日  
九州経済同友会

## 原子力発電・エネルギー政策のあり方に関する意見書

平成 24 年夏の九州の電力需給は、企業・家庭の節電などにより、最悪の事態は回避できたが、原子力発電所の再稼働が実現しない限り、本年も電力の供給に不安を抱えることになる。

また、電力会社は相次いで電気料金の値上げを申請、または申請の意向を表明しているが、平成 25 年度も原子力発電所が再稼働しない事態に陥れば、電気料金の更なる値上げも懸念され、国内産業の多くは国際競争力を失い、事業所の縮小・閉鎖や海外移転に追い込まれることになる。その結果、賃金の引き下げや失業が発生するなど、国民生活に甚大な影響を及ぼすことは必至である。

さらに、平成 23 年に我が国は貿易赤字に転落したが、その最大の要因は原子力発電所の運転停止による化石燃料の調達増である。こうした状況が続けば、国内産業の競争力低下と相俟って、円の信用不安や国債の暴落にも繋がりがかねない。

こうしたなか、政府においてはエネルギーミックスや電力システムの改革といった検討が行われているが、非常時とも言える現在、最優先課題はエネルギーの安定供給の実現である。将来のエネルギー政策のあり方については、我が国の経済社会ならびに国民生活に大きな影響を及ぼすため、中長期的な観点から慎重かつ十分な議論が必要である。

これらを踏まえ、原子力発電所の再稼働や今後のエネルギー政策のあり方について、以下のとおり要望する。

### (1) 一日も早い原子力発電所の再稼働の実現

再稼働に関する新たな安全基準については、3 月までに骨子を策定し、7 月までに見直し・改訂されることとなっている。しかし、原子力発電所の再稼働の遅れが経済・社会に及ぼす影響は大きく、一日も早い基準の策定を行うとともに、安全基準の骨子が明らかになった時点で速やかに事前審査を開始するなど、迅速に再稼働手続きを進めるべきである。

そして、原子力規制委員会によって安全性が確認された原子力発電所については、政府の責任により速やかに再稼働を決定すべきである。

### (2) 原子力発電の重要性を踏まえた新たなエネルギー基本計画の策定

福島原発事故による被害の甚大さに鑑み、再稼働に当たっては、2 度とあのような事故を起こさないように、安全を徹底するとともに、再生可能エネルギーを推進していく必要がある。

しかし、現時点では、原子力発電は安価で安定的かつ大量の電力を供給できると

同時に我が国のCO<sub>2</sub>排出削減にも貢献する優れたエネルギー源である。このため、今後も原発は中長期にわたって我が国のエネルギー源の相当程度を賄うことを念頭に置くべきである。旧政権下におけるエネルギー・環境会議は平成24年9月に「革新的エネルギー・環境戦略」を策定し、2030年代に原子力発電所の稼働ゼロを目指すとしたが、安易に原子力という選択肢を失うべきではない。

したがって、エネルギー自給率わずか4%という我が国の状況や地球温暖化対策などを考慮した上で本戦略を抜本的に見直し、最適なエネルギーミックスを織り込んだ「新たなエネルギー基本計画」を策定すべきである。

### (3) 再生可能エネルギーの推進

再生可能エネルギーの推進は、国産エネルギー有効活用の観点から、また地球温暖化対策面から重要である。その一方、再生可能エネルギーの持つ問題点を十分に検討しておく必要がある。

再生可能エネルギーの買取制度が開始されたが、買取価格が発電価格に対して極めて高く設定されているため、再生可能エネルギーの普及とともに電気料金の大幅な上昇につながることを憂慮される。また、主力となる太陽光や風力発電は不安定な電源であるため、電力系統対策やバックアップ電源の確保など、その不安定性をカバーするコストも国民全てで負担することになる。

再生可能エネルギーの推進にあたっては、こうした問題点を十分に検討し、国民的な合意形成を経た上で取り組むべきである。

### (4) 電力システム改革についての慎重な検討

エネルギー基本計画等が定まらない状況の中で、発送電分離、全面自由化といった今後のエネルギー政策の根幹に関わる電力システム改革の検討が進められようとしている。しかし、発送電分離、全面自由化には、安定供給に不可欠な供給予備電源の確保、エネルギーベストミックスを実現する仕組み、電力不足時における価格高騰への対応など、克服すべき多くの課題が存在する。

電力システムのあり方は、安定供給や電気料金等、我が国の経済や国民生活に中長期的に大きな影響を及ぼすものである。電力の安定供給が十分に確保できていない現時点において拙速に結論を出すことは避け、様々な視点から詳細なシミュレーションを行い、慎重に時間をかけて検討すべきである。

以上